

7 月 定例記者会見 市長あいさつ

皆さま、こんにちは。

まずはじめに、一昨日 28 日に、熊本県を震源とする最大震度 7 の地震が発生した、令和 8 年熊本地震において、大型商業施設や工場、家屋の倒壊などにより、多くの被害が発生いたしました。

今回の地震で、お亡くなりになられた方々に対し、心よりお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

現在、被災地では救助活動や復旧作業が続けられていることと思いますが、このような被災の状況に猛暑が重なり、熱中症などのリスクが高まっていることが懸念されます。猛暑の中での活動は、被災された方々だけでなく、救助や支援に携わられている皆様の健康や安全にも非常に厳しい状況であると察しております。

猛暑の中での避難生活が続く中、被災された皆さまには、健康管理に十分お気をつけいただきたいと思っております。

取手市といたしましては、義援金の受付を行っているほか、ふるさと納税の代理寄付も開始する予定でございます。

被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

ます。

それでは、本日の発表事項に移ります。

「AI キャラクターが行政サービスやイベントを案内！
話せる AI 「^{トイトーク}ToyTalk」 の運用を開始」 についてご説明いたします。

今回、運用を開始するスポット AI 「ToyTalk」 は、既存のマニュアルやイベントなどの情報を読み込ませるだけで、その時、その場所、その用途に特化した AI キャラクターを簡単に作成できるプラットフォームとなっております。

専用端末やアプリは必要とせず、二次元コードなどからスマートフォンで簡単に利用することができます。また、57 の言語に対応しており、外国人の方などへ情報をスムーズにお届けすることが可能となっております。

この事業は、令和 7 年度取手市公共施設マネジメント民間提案制度により、民間事業者の提案を採択し実現したもので、取手市初の事業化事例となります。

現在、保育サービスについて案内する「AI 保育コンシェルジュ」や、とりで利根川大花火のイベント案内キャラクターの動作テストを進めており、今後は、公共サービスやイベント案内をはじめ、窓口業務や内部事務への展開を目

指しているところでございます。

以上で、私からの説明を終わります。